

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 2 2 日から 1 2 月 2 1 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 1 1 月 2 1 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

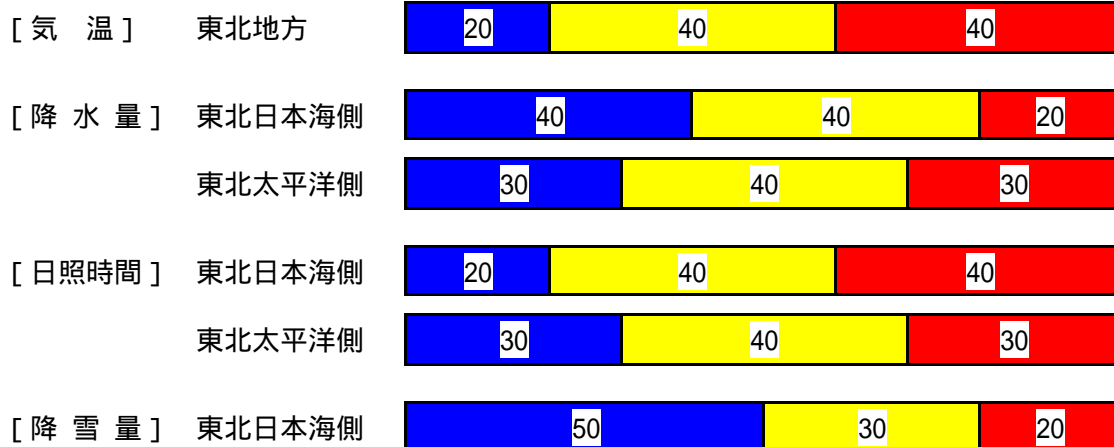
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となりますが、長続きはしないでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日は少ない見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は平年並か高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側は平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側は平年並、東北日本海側の降雪量は少ないでしょう。

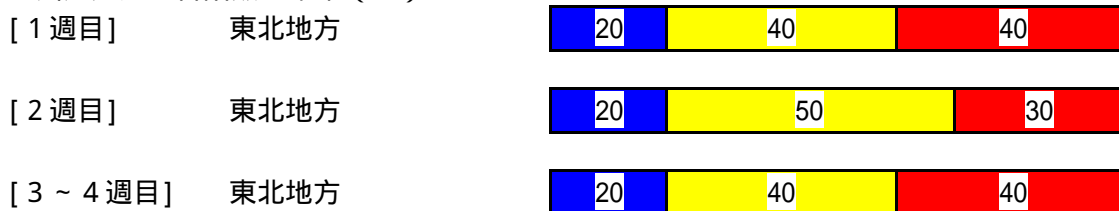
週別の気温は、1 週目は平年並か高い、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並か高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



低い (少ない) 平年並 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



低い 平年並 高い

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 2 2 日 (土) ~ 1 2 月 2 1 日 (日)
1 週目 : 1 1 月 2 2 日 (土) ~ 1 1 月 2 8 日 (金)
2 週目 : 1 1 月 2 9 日 (土) ~ 1 2 月 5 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 2 月 6 日 (土) ~ 1 2 月 1 9 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 2 8 日
3 か月予報 : 1 1 月 2 5 日 (火) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	4.7	54.8	133.0	0	6.5	5.4	3.8
新庄	2.7	207.1	39.0		4.5	3.4	1.7
若松	3.2	81.2	72.5	44	5.0	3.8	2.3
深浦	3.7	139.4	39.1	30	5.6	4.4	2.7
青森	2.6	143.3	59.2	130	4.6	3.3	1.6
むつ	2.5	101.4	76.5		4.5	3.2	1.5
八戸	2.9	43.9	125.1	2	4.8	3.6	1.9
秋田	4.0	174.0	51.3	34	5.8	4.7	3.0
盛岡	2.0	73.8	100.8	26	3.9	2.7	1.1
宮古	4.3	53.5	144.9	0	6.1	4.9	3.3
酒田	5.5	218.9	47.6	21	7.3	6.1	4.6
山形	3.6	79.1	83.2	40	5.3	4.3	2.7
仙台	5.6	31.8	138.0	2	7.3	6.2	4.6
石巻	4.6	31.9	147.2	0	6.5	5.3	3.7
福島	5.4	37.4	125.3	10	7.1	6.0	4.5
白河	4.0	37.1	151.5		5.7	4.6	3.1
小名浜	7.3	50.5	173.9	-	9.0	7.8	6.4

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	81～ 99	98～ 104	55～ 109
東北日本海側	-0.4～+0.5	91～ 107	92～ 108	66～ 113
東北太平洋側	-0.4～+0.5	67～ 101	97～ 105	43～ 107

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.7～+0.7	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.7～+0.6	-0.8～+0.7	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.7～+0.7	-0.4～+0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 11 月 21 日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(11 月 22 日～12 月 21 日)：

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となりますが、長続きはしないでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日は少ない見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(11 月 22 日～11 月 28 日)：

明日(22 日)から明後日(23 日)は、冬型の気圧配置が強まるため、日本海側を中心に雪や雨が降り大荒れの天気になる見込みです。その後は高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の終わりは気圧の谷の影響で天気がくずれるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目(11 月 29 日～12 月 5 日)：

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(12 月 6 日～12 月 19 日)：

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となりますが、長続きはしないでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日は少ない見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

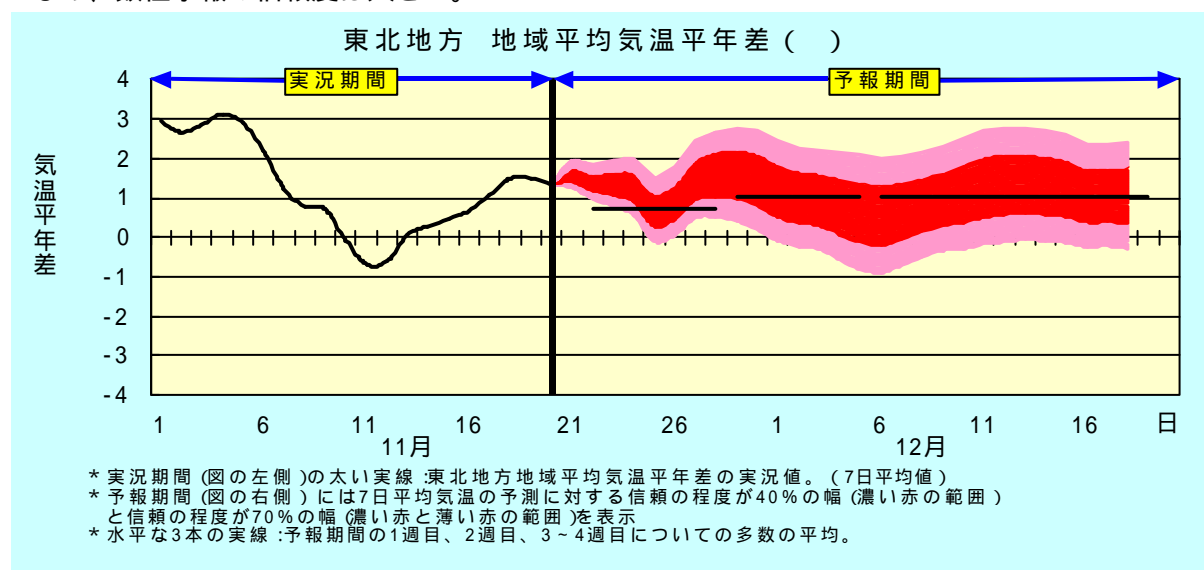
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	5.3 日	1.7 日	1.4 日	2.2 日
東北太平洋側	16.6 日	4.1 日	4.2 日	8.3 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも「高い」と予測している。予報は、その他の資料から、1 週目を「平年並か高い」、2 週目を「平年並」、3～4 週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

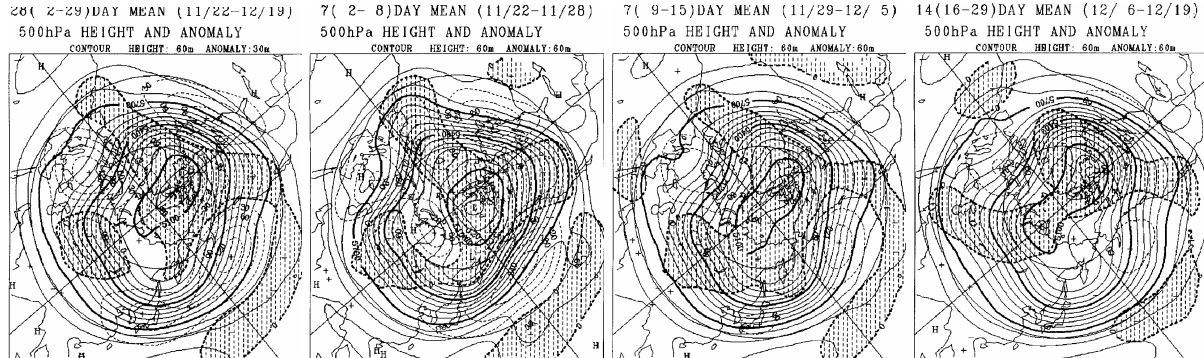


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は強い正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、気圧の谷は数日の周期で通過するが、冬型の気圧配置は長続きしない見込み。

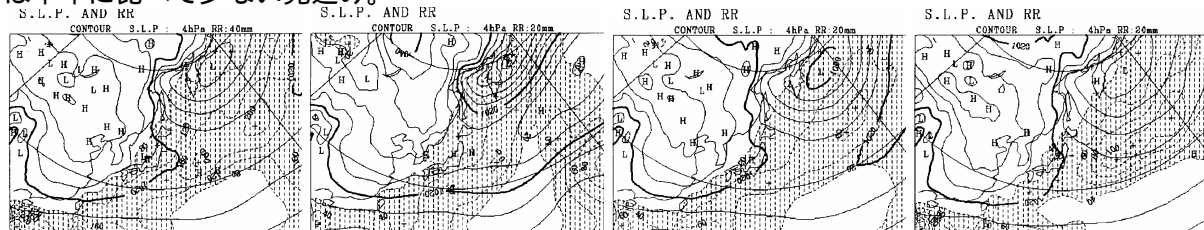
週別に見ると、1週目は、月平均と同様。2週目は、北海道の東が負偏差となり、一時的に寒気の影響を受けやすくなる見込み。3～4週目は、極東付近は日本付近も含め広く正偏差となる予想。



地上気圧と降水量：

月平均では、平年に比べて冬型の気圧配置は弱い見込み。まとまった降水域は日本の南岸が中心で、日本付近は弱い降水域がかかる程度。

週別に見ると、1週目は初め強い冬型の気圧配置となるが、その後は移動性高気圧に覆われる。2週目は月平均とほぼ同様。3～4週目は平年とほぼ同様の気圧配置だが、東北日本海側の降水量は平年に比べて少ない見込み。

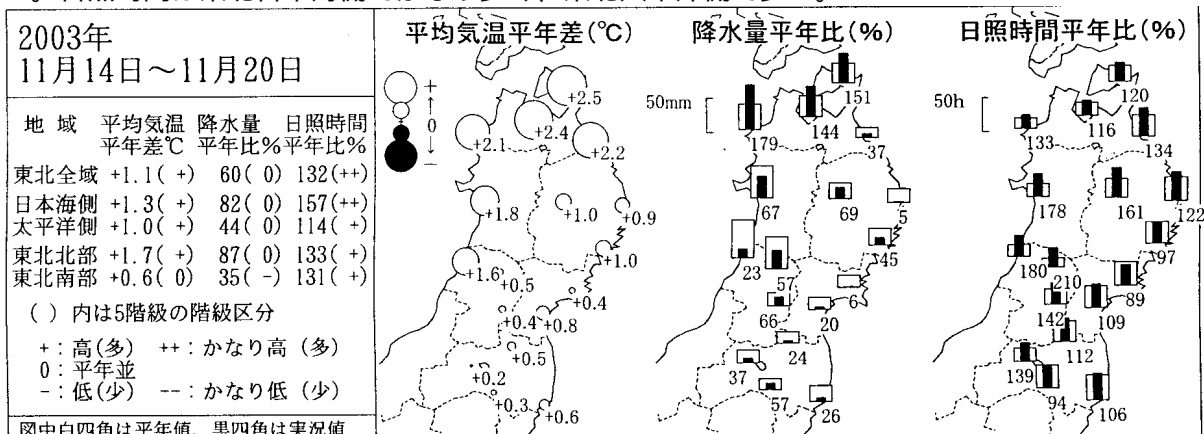


4．最近1週間（11月14日～11月20日）の天候の経過

この期間、16日に低気圧から伸びる寒冷前線が東北地方を通過し、青森県では強い雨による浸水害や土石崩れが発生した。前線通過後は一時的に冬型の気圧配置となり、強風も観測された。その他の日は移動性高気圧に覆われて晴れる所が多かったが、20日は低気圧の影響で東北南部を中心に雨となった。

なお、14～15日、17～19日には各地で初霜、初氷、初冠雪を観測した。（5．2003年季節現象の初日や初冠雪を参照。）

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5 . 2003 年季節現象の初日や初冠雪

2003年（平成15年） 季節現象（初日）

官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.11	10.23	10.24	11.11	10.29	11. 9		11. 7	11. 2
深浦		11.17	11.30		11.19	11. 9		11.10	11. 2
八戸	11.11	10.27	11. 4	11.14	11. 2	11. 4		11.11	11. 9
秋田	10.27	11. 6	11.16		11.13	11.10		11.12	11. 2
盛岡	10.27	10.18	11. 4	10.27	10.24	11. 4		11. 8	10.28
宮古	10.27	10.31	11. 5	11.15	11. 5	11. 6		11.16	11. 9
大船渡	10.27	11. 5	10.31		11.11	11. 6		11.18	11. 9
酒田	11.19	11.12	11.16		11.20	11.16		11.17	11. 2
山形	10.27	10.24	11. 7	10.27	10.29	11. 7		11.16	11. 5
仙台	11.15	11. 6	11. 7		11.16	11. 7		11.22	11. 9
福島	11.15	11. 6	11. 7	11.15	11.11	11. 7		11.24	11. 9
若松	11. 5	10.28	11.17	11.18	11. 6	11.17		11.17	10.28
小名浜		11.11	11. 5		11.19	11. 7		12.13	11. 9

初冠雪

山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10. 5	10.16	10.22	朝日岳	1870	10.17	10.19	10.29
岩木山	1625	10. 5	10.15	10.24	雁戸山	1485	10.24	10.28	10.29
階上岳	740		11.12	11. 9	滝山	1362	10.24	10.30	10.28
太平山	1170		10.31	10.28	泉ヶ岳	1175	11.17	11. 6	10.29
岩手山	2038	10. 5	10.13	10.22	蔵王山	1841	10.24	10.23	10.29
五葉山	1351		11. 7	10.29	吾妻山	1949	10.24	10.21	10.28
鳥海山	2236	10. 5	10. 9	10.11	飯豊山	2105	10. 4	10.17	10.26
月山	1984	10.17	10.15	10.25	磐梯山	1819	10.24	10.24	10.28

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。